

東京都
小池 百合子 知事 殿
多羅尾 光睦 副知事 殿

都市整備局 都市づくり政策部 御中

提 言 書

『 東京都 築地市場跡地再開発への
世界で最も競争力を持つ
シンガポール国際コンベンション複合施設の移植と
“築地オリジナル” による MICE 核 街開発の成功化 』に向けて

2019 年 2 月

「超党派の国会議員からなる政策会合」

顧問 石原 信雄 元官房副長官
幹事 鈴木 浩二 総合プロデューサー
誘致を進言する議員 一同

東京都
小池 百合子 知事 殿
多羅尾 光睦 副知事 殿

都市整備局 都市づくり政策部 御中

提 言 書

**私どもは 築地市場跡地に向けて、最も国際競争力を持つ
シンガポールの国際コンベンション複合施設の誘致・導入提言を行います**

私ども超党派政策会合では、東日本大震災の復興施策提案（復興特区創設）の後に、東京・日本の成長戦略として、シンガポールの国際コンベンション複合施設の導入・誘致を、東京都 並びに 安倍総理（第二次内閣）へ提言しました。（2013 年時）

同コンベンション複合施設は、金融センターを伴い MICE 語源の誕生場として、世界で最も国際競争力を持ち、WTO の初回閣僚会議より、I M F、APEC、ASEAN、TPP 等の国際会議の発祥場として、世界の経済ダイナミズムを牽引してきました。

同誘致活動は、安倍総理の第三の矢のアクションとして進めたもので、移植検討のために逢沢一郎 衆議院議員／財政金融委員長（2013 年当時）が当施設を訪問、超党派政策会合より政府 及び 東京都への誘致推奨を行った経緯があります。

20ha 近い臨海用地を検討するも、同年に東京五輪招致が決定、その用地確保が優先され、移植先を見出せない状況が続いてきました。

2018 年末、東京都の発表より「築地市場跡地」23ha が候補地として上がり、同用地への、当コンベンション複合施設（金融センター、国際ヘッドオフィス他施設群を含む）の移植を、超党派政策会合として東京都へ提言致します。

併せて、築地らしい、東京独自の成長戦略からなる施設群を併設・導入したいと考えております。

2019 年 2 月 18 日

「超党派の国会議員からなる政策会合」

顧 問 石 原 信 雄 元官房副長官
幹 事 鈴 木 浩 二 総合プロデューサー
誘致を進言する議員 一同

安 倍 晋 三 内閣総理大臣 殿

提 言 書

『 日本の確固たる経済成長に向け、
アジア核の経済ダイナミズムを導入・発信するための、
国際コンベンション複合施設の導入 』 を提言します

私どもは、日本の産業復興・経済再生のために「復興特区制度の法制化提言」(2011 年)を行い、今回 安倍総理に向け、「自動車新産業特区」及び 確固たる経済成長のための、海外から日本への『国際コンベンション複合施設の導入』の実現に向けた提案を行います。

日本の経済成長に向け、アジアの経済ダイナミズムを取り込む構造を有することは、最も重要であると考えます。

この経済ダイナミズムを取り込み、また日本からビジネスモデルを輸出するために、日本に世界のゲートウェイと呼ばれるような、質・量・アクティビティをともに持ち得るコンベンション複合施設(MICE 事業)が必要であると考えます。

この必要性については、安倍総理 自らが唱えておられます。

世界のゲートウェイ、アジアのヘッドクォーターと称される、シンガポールの国際コンベンション施設が、近く 開設より 20 周年を迎えます。

私たちは、20 周年を記念しての、同コンベンションの日本への導入検討を進めています。

御存知の通り、当コンベンションは、WTO 閣僚会議(1996 年)に始まり、APEC、IMF、TPP 国際会議など、世界を牽引するダイナミズムの発祥元となっています。

日本へ導入し、日本の独創力、技術力、開発力、エンターテインメント力 によってさらに洗練化させることで、世界で唯一の、未来をも切り開くことのできるコンベンションとなるでしょう。

また、日本が TPP を含め、国際アリーナに参画していくために、日本の経済柱である「自動車(日本自動車工業会 他)、機械、電機、農林水産、科学技術、医療、金融、サービス産業 等」が アジア核 経済ダイナミズムを取り入れ、双方向のビジネスを行うための、強い拠点となるでしょう。

実現のためには、多くの活動が必要となりますが、何より 日本の国家プロジェクトづくりのひとつでもあろう、この国際コンベンション導入と運営を成功させるために、各種の規制緩和、インセンティブづくりが必要とされます。

この計画進行を、安倍政権の経済再生戦略への牽引プロジェクトとして盛り込むことを提案致します。

平成 25 年 5 月 20 日

提言者： 「超党派政策会合」(超党派の国会議員からなる政策会合)

ー 産業復興・国家プロジェクトづくり政策会合 編

顧問： 石原 信雄 元官房副長官
幹事： 鈴木 浩二 総合プロデューサー

取扱注意

CONFIDENTIAL

「超党派政策会合」
試案作製：鈴木浩二 総合プロデューサー
顧問：石原信雄 元官房副長官
Jan. 2020

Planning: Koji Suzuki Total Project-Producer
Adviser: Nobuo Ishihara, former Chief Cabinet Secretary

東京都及び政府、関連機関にとって必要となる進行与件

Progress required for the Tokyo Metropolitan Government, government, and related organizations

東京(築地)MICEへの、東京・日本オリジナルの手法による開発目標:

■ 1. 日本の政治力の集約による「日本独自の国際会議メニュー(プログラム)づくり」
Creating a Japan-original international conference menu (program) by consolidating Japanese political power

■ 2. 「多産業ジャンルに対応の、現場としてのエキシビション・コンベンション機能づくり」
Creation of exhibition and convention functions as a product development site

■ 3. 「世界を牽引」できるコンベンション、フィナンシャルセンター、ヘッドオフィスの
併設による、ゲートウェイ開発」/ 対日投資庁の検討
Driving the world- Gateway development with convention function, financial center and head office

■ 4. 「東京・日本オリジナルの、質重視のノウハウによる、
世界で唯一の“First World Hub”づくり」
Creation of the world's only “First World Hub” based on Tokyo and Japan original quality-oriented know-how

■ 5. 「創業=起業支援の場づくり」/ 特に海外からの起業家導入のための法律支援
Creating a support function for founding and entrepreneurship
/ Legal support for introducing entrepreneurs from overseas

■ 6. Society 5.0-5G, ICT, IoT, AI等利用による、
「次代モビリティ推進」、「水素社会パッケージ開発」、「Smart MICE」、「防災・減災」等
Development target: “Next-generation mobility”, “Hydrogen-based social packages”, “Smart MICE”,
“Disaster prevention/mitigation”, others → using 5G, ICT, IoT, AI

■ 7. 次世代モビリティ・プラットフォーム拠点の導入と、都内・首都圏、全国への展開
Introduction of next-generation mobility platform base, expansion into Tokyo, Capital Area and the whole country

国際競争力の強化

日本ブランドMICE

“開国一番街”

都と政府の成長戦略として

開発現場MICE

パイオニア的
事業構造を有する

優良な対日投資の集約

東京都MICEからの
ビジネスモデル輸出

東京(築地)MICE成功のための戦略目標:

1. 東京都、政府、民間機関による、「国際競争力の強化」、「次代を牽引する商材開発」を可能とさせる。
Enables “strengthening of international competitiveness” and “development of products to drive the next generation.”
According to the strategy of the Tokyo Metropolitan Government, national government, and private sectors.
2. 日本ブランドとしてのMICE事業開発
MICE business Development as Japan Brand
3. “開国一番街”として、「日本の成長を牽引する街づくり」と、「ビジネスモデル輸出の拠点」を目指す。
Aiming for the “Town development” to lead the growth of Japan” and the “base to export business models”
as the “First City for Opening Japan”
4. 民間の戦略構造と、東京都と日本政府の新成長戦略からの位置付けをもった開発。
Development promoted with the strategic structures of the private sector and recognition
by the Tokyo Metropolitan Government and the Japanese government in its new growth strategy
5. 開発現場としての国際コンベンション・エキシビション施設開発へ。
International convention and exhibition facility development as products development site
6. 日本の産業活性へのパイオニア的の事業構造を有する再開発をめざす。
Holding a business structure to the re-development project
which has a pioneering business structure to revitalize Japanese industries
7. 優良な対日投資を集約することのできる法整備による拠点づくり ⇒ 東京都と日本政府による法整備サポート。
Creating bases supported by law enactment that can mobilize excellent FDIs to Japan
⇒ Supporting by the Tokyo Metropolitan Gov. and the Japanese government to enact/revise relevant laws
8. MICE・ゲートウェイ開発を切り口のビジネスモデル輸出の拠点、国内投資集約拠点として
MICE-gateway businesses as a base for business model export and for mobilizing investments

取扱い注意

「超党派政策会合」
 試案作製：鈴木浩二 総合プロデューサー
 顧問：石原信雄 元官房副長官
 Jan. 2020

CONFIDENTIAL

Planning: Koji Suzuki Total Project-Producer
 Adviser: Nobuo Ishihara, former Chief Cabinet Secretary

日本政府 及び 超党派政策会合からの進行戦略の内容

Content of progress strategies from the Japanese government and the Inter-Party MP Policy Proposal Group

東京・日本オリジナルのMICE開発目標より成長戦略を事業化

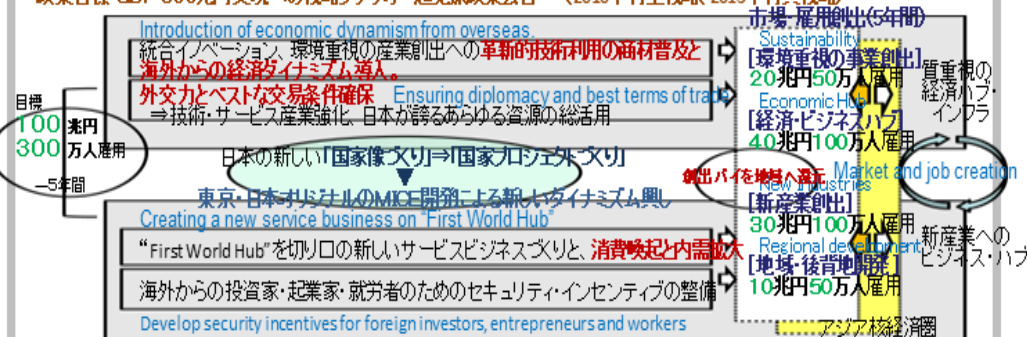
Commercialization of growth strategy based on MICE development of original Tokyo and Japan

政策目標:

- “First World Ecology Hub”としての環境ビジネス開発
 20兆円市場 / 50万人雇用
- 外交力を含む良好な交易条件確保
 40兆円市場 / 100万人雇用
- 統合イノベーション利用の新産業創出
 30兆円市場 / 100万人雇用
- 東京・日本オリジナルのMICE開発と地域開発
 10兆円市場 / 50万人雇用

「次世代製造/産業技術とサービス産業への融合化による
 “目に見える事業現場づくり” - 開発現場としてのMICE施設
 「新しい時代・潮流をつくる民生・業務素材の開発・普及」
 消費・内需拡大への突破口(開発場)づくりを目標。
 対象ジャンル: ①医療・バイオ、②環境、③新エネルギー開発、
 ④観光、⑤教育、⑥金融センター、⑦IT・コンテンツ産業、⑧宇宙開発

政策目標 GDP 600兆円実現への戦略ナリオ→超党派政策会合 ⇒ (2010年再生戦略、2013年再興戦略)



日本らしい・東京らしいMICE開発に向けた検討会合

「超党派の国会議員からなる政策会合 2002年～」 The Inter-Party MP Policy Proposal Group

2013年/2019年～

国家プロジェクトづくり政策会合/「MICE開発のための官民合同検討会合」

National Project Creation Policy Meeting / "Public-Private Joint Meeting for MICE Development"

2013年会合 5月/11月

2019年会合 3月/12月

■ 提言メンバー (2013年5月 安倍総理への提言/2019年2月 東京都への提言)

逢沢一郎 衆議院議員 岩屋毅 衆議院議員 渡海紀三朗 衆議院議員 遠藤利明 衆議院議員
 山本有二 衆議院議員 額賀福志郎 衆議院議員 黄川田仁志 衆議院議員 山下貴司 衆議院議員
 野田佳彦 衆議院議員 笠浩史 衆議院議員 松原仁 衆議院議員 長島昭久 衆議院議員
 松沢成文 参議院議員 梅床伸二 衆議院議員 渡辺喜美 参議院議員 他

建築・都市計画 伊東豊雄 隈研吾
 顧問 石原信雄 元官房副長官 幹事 鈴木浩二 総合プロデューサー
 協力: 東京都 国土交通省 内閣官房 統合イノベーション本部

■ Proposal Members:

MP Ichiro AISAWA, MP Toshiaki ENDO, MP Takeshi IWAYA, MP Kisaburo TOKAI, MP Yuji YAMAMOTO,
 MP Hitoshi KIKAWADA, MP Fukushima NUKAGA, MP Takashi YAMASHITA, MP Masaki OGUSHI,
 MP Masahito MORIYAMA, MP Yoshihiko NODA (former Prime Minister), MP Hirofumi RYU, MP Jin MATSUBARA,
 MP Akihisa NAGASHIMA, MP Shinji TARUTOKO, MP Shigefumi MATSUZAWA, MP Koichiro GEMBA,
 MP Kazuhiro HARAGUCHI, MP Yukio EDANO, MP Seiji MAEHARA, MP Yoshimi WATANABE, others

Architecture and city planning: Toyoo ITO, Kengo KUMA

Advisor: Nobuo ISHIIHARA, former Chief Cabinet Secretary Organizer: Koji SUZUKI, Total Project-Producer

Cooperation: Tokyo Metropolitan Government, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism,
 Cabinet Secretariat Integrated Innovation (Science and technology) Division

Suntec City Singapore is projected to Tsukiji as its sister project in Tokyo
 — Original design by Suntec City Singapore

Planning: Koji Suzuki Total Project-Producer
 Adviser: Nobuo Ishihara, former Chief Cabinet Secretary
 Feb. 2019

築地市場跡地開発計画(案)

朝日新聞社

青果部地下駐車場

国立がんセンター

Total Area:
 approx. 23 ha
 Area except for
 roads: approx.
 20ha
 Use: Commerce
 600/80

Area for
 SUNTEC Style
 Land: approx.
 120,000㎡
 GFA: approx.
 700,000㎡
 Parking Capacity:
 4,000 cars

Pedestrian Flow Line

Access to Activity Space

Pedestrian
 Access Point

Vehicle Flow Line

Gate Zone
 Construction Area:
 9600㎡ 10/2
 10,000㎡
 Total Floor Area:
 100,000㎡
 Parking Capacity:
 800 cars

International Convention
 & Exhibition Centre 5/2
 Construction Area:
 aprx. 25,000㎡
 GFA: aprx. 160,000㎡

Parking
 Capacity:
 2,000 cars
 GFA 60,000㎡

Ring Road No. 2
 (underground)

Hotel with an
 international brand/
 Office 15/1
 Construction Area:
 aprx. 5,600㎡
 GFA: aprx. 50,000㎡

SC · Commerce 3/1
 Construction Area:
 aprx. 25,000㎡
 GFA: aprx. 100,000㎡
 300 retail shops
 100 F&B outlets

Parking
 Capacity:
 2,000 cars
 GFA 60,000㎡

Office tower
 (4 towers, 45 floors)
 1 Tower: Construction Area:
 aprx. 1600㎡ 42/2
 GFA : aprx. 70,000㎡
 4 Total GFA: 280,000㎡

Suntec Convention
 Centre 6層
 Multi-purpose
 Plaza
 Hospitality Zone 4 ha
 International Convention Hall / Exhibition Hall
 Hotel with an international brand

Tsukiji
 River

Panoramic Viewing Place

Multi-purpose
 Plaza

Waterfront Zone 2.4 ha
 Development of Waterborne Traffic Network
 Development of Waterside Activity Space
 Boarding Point and Restaurants

隅田川

Panoramic Viewing Place

Boarding Point



「超党派政策会合」
試案作製： 鈴木浩二 総合プロデューサー
顧問： 石原信雄 元官房副長官
Feb. 2019

**築地市場跡地へのシンガポール国際コンベンション複合施設の移設に伴う
“築地オリジナル”の成長戦略について：**

当コンベンション施設は、欧米とアジア間の経済・貿易・政治・文化を継ぐ拠点として大きな役割を果たした。

食文化が果たす役割は大きく、シンガポールに根付く伝統的な飲食文化に国際的な飲食文化が合流し、生み出された強力なパワーは、コンベンション核街開発を世界一に押し上げた。

「築地に根付く、築地オリジナル・日本オリジナルの飲食文化は、“世界へ継ぐことのできるおもてなし”の実現に向けて大きな役割（ビジネスチャンス）を担い得る。」



シンガポール国際コンベンション複合施設の東京・築地への移設に併せて、
築地に根を張る飲食文化（日本版ホーカーズ）に、国際的に根を張ってきた飲食文化を合流させることによって、
豊洲市場から離れた築地市場（マーケット）のパワーを**“築地オリジナル”**として成長させて行きたい。

※ 現在のホーカーズ（Hawkers）

伝統的な料理の調理・提供が高い職能を持つシェフによって、独立した厨房と比較的小さな商業床で営まれてきた店舗の集合体の名称。

現在では、高質・高集客なこうした店舗を水辺に集めて、著名な観光拠点多く開発されている。（シンガポール例：ボートキー、クラークキー）

“開国一番街”として、「東京・日本の成長を牽引する街づくり」と、「ビジネスモデル／築地オリジナルの輸出拠点」を目指す。

「超党派政策会合」
試案作製：鈴木浩二 総合プロデューサー
顧問：石原信雄元官房副長官
Feb. 2019

—国際コンベンション施設誘致に伴う、“築地オリジナル飲食文化”+“国際オリジナル飲食文化”により、築地ポテンシャルを戦略化。

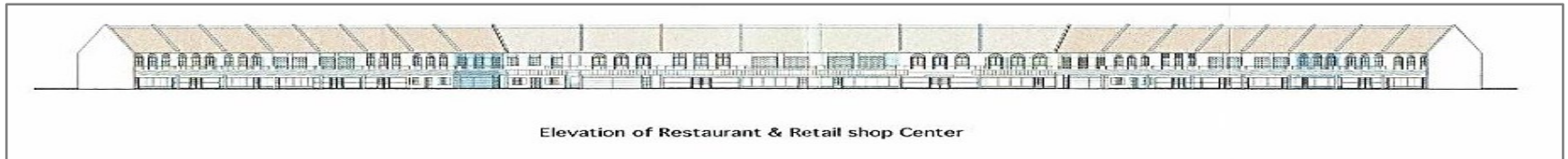
Food & Entertainment Complex Business in Tsukiji・Tokyo

“Food & Entertainment Complex” as the advancing business

Considering it Service and Entertainment Businesses in the core facility of Tsukiji Convention & Exhibition complex
Planned division of roles among Overseas partners and Japanese partners

シンガポール国際コンベンション複合施設の築地への移設に併せて、
築地に根を張る飲食文化と、国際的に根を張ってきた飲食文化の合流により、
“築地オリジナル”は世界一のマーケットとなる。

© 鈴木 浩二総合プロデューサー・オフィス
隈研吾 建築都市設計事務所



「築地飲食オリジナル」—築地場外市場飲食の増床店舗ゾーン／日本オリジナルの独立店舗（日本版ホーカーズ）
「国際飲食オリジナル」—国際的に根を張るオリジナル独立飲食店舗

© 鈴木 浩二総合プロデューサー・オフィス
隈研吾 建築都市設計事務所



シンガポール クラーク・キー

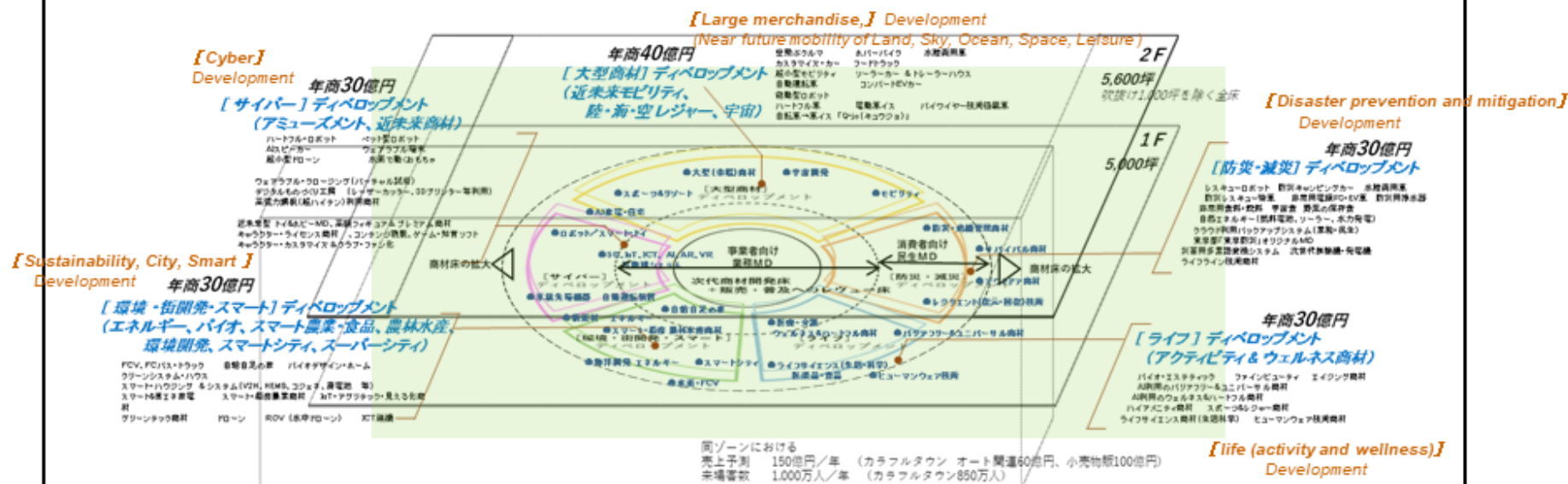


水辺の国際専門飲食・物販店舗群

イメージ映像：
築地国際コンベンション複合施設 & タワーを背景にした
水辺の“築地オリジナル & 国際飲食マーケット”

日本・東京の国際コンベンションの優位性は、国際会議誘致によるテナント・ビジネスではなく、「政治力の強化・集約による独自の国際会議メニュー・プログラム作り」と伴に、「全ての対象ジャンルにおける「開発現場の機能を持つ『レビュー・コンベンション』」を創設・ビジネス化」にある。

日本が誇る科学技術(統合イノベーション) 利用による、商材開発現場としてのエキシビションの内容
Exhibition contents as a product development site using Japan's proud science and technology (integrated innovation)



5G、ICT、超臨場システム等の利用により、業務商材⇄民生商材の開発、確実な消費牽引へ導く

生産・配給・販売に向けた双方向現場を持つことにより消費牽引商材を開発、具体的なF/Sを準備。

シナリオ成功事例：「無印」「WAVE」「Loft」「ALTA」

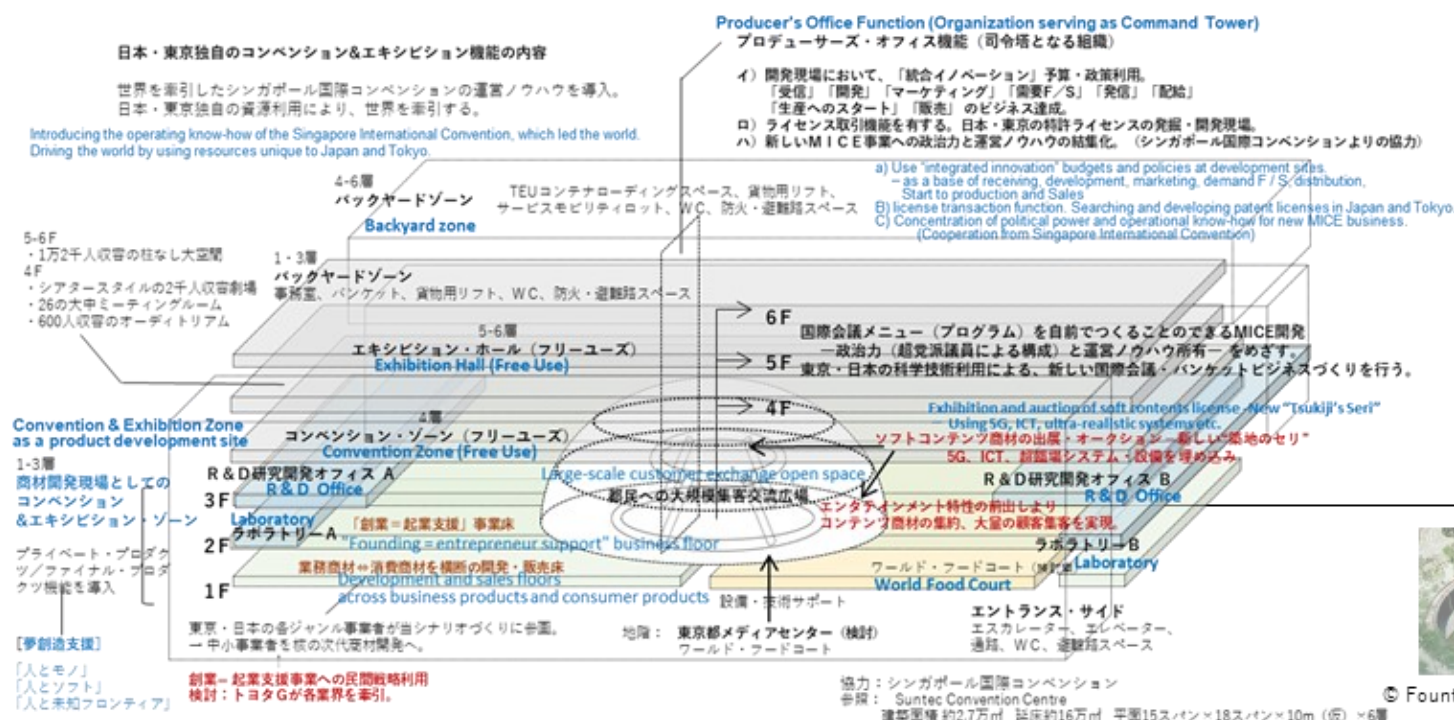
- [サイバー] ディベロップメント (ICT、IoT、5G等通信、AI・AR・VR)
- [ライフ] ディベロップメント (アクティビティ&ウェルネスMD)
- [環境・街開発・スマート] ディベロップメント (エネルギー、バイオ、スマート農業・食品、農林水産)
- [大型商材] ディベロップメント (近未来モビリティ、陸・海・空 レジャー、宇宙)
- [防災・減災] ディベロップメント

次代(消費)牽引商材の
開発・生産・販売

当MICE開発の核は、“次代・小時代を確実につくり上げる”ために、消費視点より、起業家/アントレプレナーを含む誰もが、東京・日本が誇る科学技術(統合イノベーション含)によって、民生商材と業務商材を横断できる。

⇒ このことによって「開発・生産・販売(マーケティング・流通ルートの提供)」と「日本が失いつつある創業」を行うことのできる現場を提供する。

東京・日本独自のコンベンション・エキシビション機能の内容 Contents of Tokyo and Japan's original convention and exhibition functions



Aiming for "City Development to Lead Tokyo and Japan's Growth" and "Bases for Exporting Business Models / Tsukiji Original" as the "First City for Opening Japan"

Planning: Koji Suzuki Total Project-Producer
Adviser: Nobuo Ishihara, former Chief Cabinet Secretary
Feb. 2019

- City development with an environmental approach, with strategies to lead the expansion of domestic consumption, and to explosively increase consumption
- Development with the support from a strategic structure of the private sector and the New Growth Strategy of Tokyo Metropolitan Government and the Japanese government

- Business Strategies for a newly obtained "Entertainment-type Eco-City - Multi-business Complex Center"
 - 1) Mobilize investment including investors in Japan
 - 2) Mobilize entrepreneurs including MSCs both from Japan and overseas
 - 3) Multi-business for environment business operators, bio and new energy developers, hub services and hub infrastructure operators
 ⇒ Business development of the "Tokyo culture & Industrial development Exhibition Hall"

«Focal Points» Multi-Business Complex City Development by environmental approach

- 1) Early Recovery of Joint Venture (JV) Development Investment, 2) Enhancing Utilization Rates of Assets, 3) Expanding Assets
- The strategic planning by Multi-functions and multi-businesses, and by multi-investors and multi-operators

Inviting the International Convention & Exhibition Centre



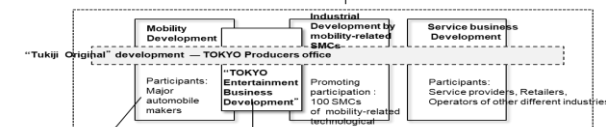
The complex for the creation of TOKYO / Tsukiji original / New Industry

Ex. "Tsukiji Multi-business Complex City Development"

© Koji Suzuki / Independent-Producer

1. Business development of the "Tokyo culture & Industrial development Exhibition Hall"

Aim for the development of new business models and product development by manufacturers (mobility and others), entertainment, retail, and business enterprises of different industries.
Exhibition hall with high customer attention and high efficiency sales.



Targets of an Auto Mall
Sales/year
4,000 cars
50 billion yen
Visitors/year
20 million persons

Promotion for participation:
Amusement operators,
Characters and Licensing
companies
10 major and 50 SMCs

New strategy
by Tokyo
Metropolitan
Government
"Tsukiji Original"

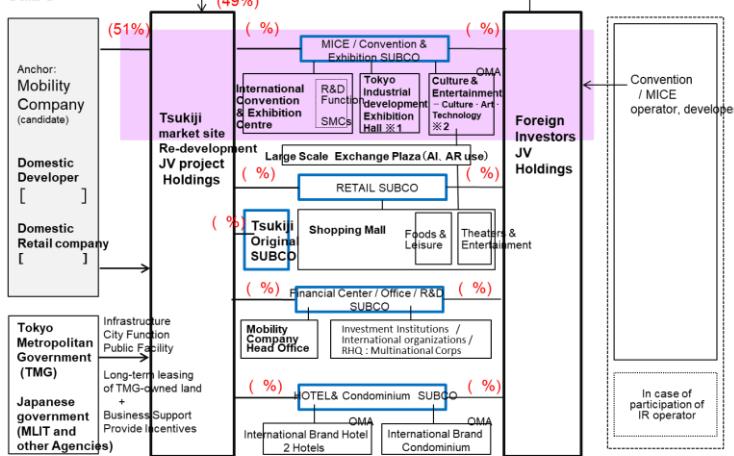
1. Business development of the "Tokyo culture & Industrial development Exhibition Hall"
2. Business Network for Developing New Industries
3. New Energy Development Businesses (hydrogen etc.) and New Industries in Recycling
4. Human Resource Development for R&D and Starting up businesses in order to develop new industries

Themes to be pursued in the Exhibition Hall
ex:
I Environment and energy saving
II Nursing Care
III New energies
IV Characterization and Fashion Creation
V Amenity
VI Rationalizing lifestyles
VII New Industry Businesses

PROVISIONAL Tsukiji market site Re-development JV project

Planning: Koji Suzuki Total Project-Producer
Adviser: Nobuo Ishihara, former Chief Cabinet Secretary
Feb. 2019

Plan-1



- ※1 Convention / exhibition type development / production site, sales site
ex. Tokyo New Industry Development Exhibition —Automobiles, machinery, electricity, agriculture and forestry fisheries, science and technology, medical, financial, service industries etc.
- ※2 Exchange Place to create the Tokyo Brand —Culture · art · technology · sports · wellness ·

The complex for the creation of TOKYO / Tsukiji original / New Industry

Ex. "Tsukiji Multi-business Complex City Development"

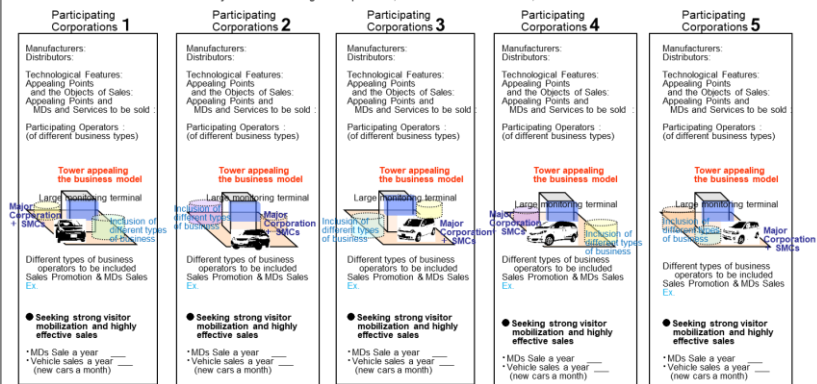
Planning: Koji Suzuki Total Project-Producer
Adviser: Nobuo Ishihara, former Chief Cabinet Secretary
Feb. 2019

● Themes for business floors

- I Environment and energy saving
Participating Corporations 1~5
V Amenity 21~25
- II Nursing Care
Participating Corporations 6~10
VI Rationalizing lifestyles 26~30
- III New energies
Participating Corporations 11~15
VII New Industry Businesses 31~35
- IV Characterization and Fashion Creation
Participating Corporations 16~20

(Ex.) I "Vehicles + Others" Business Model focusing the "Environment"

-----Business model by a local technological corporation, manufacturers/distributors, and other different businesses



MDs= Merchandises SMCs= Small and Medium companies

東京・築地市場跡地再開発事業 に向けた戦略計画 Strategic plan for the "Tsukiji market site Re-development project"

東京・築地市場跡地における再開発与件 Re-development Requirements of the Tsukiji market site

環境切り口のマルチビジネス・コンプレックス都市づくり Urban Development by Multiple Business Complexes with an Environmental Approach

■ 「J/V開発投資の早期回収」 「資産の稼働率アップ」 「資産の拡大化」

Early return of JV Development Investments
Increased asset operation rates
Expanded assets

■ 優良な対日投資を集約することのできる 法整備による拠点づくり

⇒ 日本政府による法整備サポート

Creating bases supported by law enactment
that can mobilize excellent FDIs to Japan
⇒ Supporting the Japanese government
to enact/revise relevant laws

シンガポール政府による先行例:

金融センター、MICE事業開発

Precedent examples by the Singapore government:
Financial Center, MICE business development

■ 「機能複合、複合業態、複合資本、複合オペレーション」 による戦略計画

Strategic plan by Multi-functions, Multi-business types,
Multi-capital investors, and Multi-operations

ビジネスモデル輸出の
拠点として
国内投資集約拠点として
As a base
for business model export
and
for mobilizing investments

築地市場跡地開発を対象
at the Tsukiji market
Re-development site

民間の戦略構造と、東京都・日本政府の新成長戦略からの位置付けをもったの開発。
Development with the support from a strategic structure of the private sector
and the New Growth Strategy of Tokyo Metropolitan Government and the
Japanese government

日本の製造業、サービス産業を牽引することのできる事業構造を有する。
Holding a business structure that enables to lead Japanese
manufacturers and service providers to the re-development project
which has a pioneering business structure to revitalize Japanese industries

1. 環境、車の切り口より獲得される、これまでにない 『マルチビジネスコンプレックスセンター』の構造を 持つ。

It has a structure of the unprecedented structure of
"Multiple Business Complex Center" which is obtained
by approaching from the environment and motorcars.

2. “エンターテインメント型 Eco-city” として 汎用性ある“スマートシティ開発”を進める。

As an "Entertainment-type Eco-City," it will promote
the development of a "Smart City" with multiplicity.

3. 日本の成長戦略実現を牽引する、 国内外起業家の導入とテナントビジネス。

It introduces entrepreneurs both from Japan and
abroad that will lead the realization of the Japan's
growth strategy, and offers tenant business.

4. 「投資開発軽減」と「新たなポテンシャルを有する 投資集約ファシリティの併設」をめざすための、 優良な国内投資導入。

It will introduce excellent domestic investments
In order to "reduce development investments,"
and "annex an investment mobilizing facility that
will have new potentials."